

授業科目名	発達臨床心理学演習 I Seminar in Developmental Clinical Psychology I	科目番号	02EU150
単位数	3	担当教員	濱口佳和
授業時間	春AB, 秋AB 火曜18:30~20:30	研究室	人間系学系棟A202
科目の種類	演習	電話 メールアドレス	7501
標準履修年次	1年次	オフィスアワー	木13時45分~17時30分

授業の到達目標 発達臨床心理学の多様な研究テーマについて、既存の知見を学ぶとともに、自分の選んだ特定トピックの先行研究について、組織的文献検索とレビューを行い、その上で未検討の課題を見つけることを目標とする。

授業の概要 受講生各自が発達臨床心理学の研究テーマを一つ選び、国内外の文献を網羅的に展望した上で、既存の研究の限界や問題点を指摘し、新しい心理学的知見を獲得するための一連の研究計画を作成し、それに基づいて受講生全員で討議を行う。この演習は1過程においても心理学における研究を行う者、かつ指導教員の許可が得られた者のみ受講を許可する。

テキスト 特に定めない

参考図書 Cicchetti & Cohen(2006). 'Developmental psychopathology(2nd edition)' John Wiley & Sons. Child Development, Developmental Psychology, Journal of Abnormal Child Psychology等海外誌・教育心理学研究, 心理学研究, カウンセリング研究等国内誌

成績評価の方法 毎回の出席, プレゼンテーション, 討議での発言の積極性を総合的に評価

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和	オリエンテーション
第2回~第20回	濱口佳和	受講生各自の文献レビューと討論

授業科目名	発達臨床心理学演習Ⅱ Seminar in Developmental Clinical Psychology I	科目番号	02EU151
単位数	3	担当教員	濱口佳和
授業時間	通年 応談	研究室	D706
科目の種類	演習	メールアドレス	7501
標準履修年次	2・3年	オフィスアワー	木13時45分～17時30分

授業の到達目標 発達臨床心理学演習Ⅰの受講生のみが理由可能。
発達臨床心理学の多様な研究テーマについて、既存の知見を学ぶとともに、自分の選んだ特定トピックの先行研究について、組織的文献検索とレビューを行い、その上で未検討の課題を見つけることを目標とする。

授業の概要 受講生各自が発達臨床心理学の研究テーマを一つ選び、発達臨床心理学演習Ⅰで行った文献レビューに基づいて具体的な研究テーマを選び、新しい心理学的知見を獲得するための一連の研究計画を作成し、研究を遂行し、途中経過と結果を報告する。これらの計画と報告に基づいて受講生全員で討議を行う。発達臨床心理学演習Ⅰを履修した2年次以上の学生を受講体対象とする。

テキスト 特に定めない

参考図書 Cicchetti & Cohen(2006). 'Developmental psychopathology(2nd edition)' John Wiley & Sons. Child Development, Developmental Psychology, Journal of Abnormal Child Psychology等海外誌・教育心理学研究, 心理学研究, カウンセリング研究等国内誌

成績評価の方法 毎回の出席, プレゼンテーション, 討議での発言の積極性を総合的に評価

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和	オリエンテーション
第2回～第20回	濱口佳和	受講生各自の文献レビューと討論

授業科目名	発達臨床心理学実習 I Practice in Developmental Clinical Psychology I	科目番号	02EU153
単位数	3	担当教員	濱口佳和
授業時間	春AB・秋AB 木曜 12:15～13:30 & 18:30～20:30	研究室	12:15～13:30 D116(SpringA,B), D117(Autumn A,B) 18:30～20:30 D734
科目の種類	実習	メールアドレス 電話番号	7501
標準履修年次	1年次	オフィスアワー	木13時45分～17時30分

授業の到達目標 臨床心理士資格を有する教員のスーパービジョンの下に、幼児・児童・青年ならびに親を対象とした心理学的治療を実施し、それらの理論と技法についての理解を深める。

授業の概要 臨床心理士資格を有する教員のスーパービジョンの下に、幼児・児童・青年ならびに親を対象とした心理学的治療ならびにその保護者に対するコンサルテーションと家訓瀬リングを行う。さらに、各自の行った心理療法の事例報告を作成し、発表し、同僚の行った心理療法のじっせいに對して建設的な立場から助言を与える。
受講生は臨床心理士有資格者または(財)臨床心理士口認定協会の指定する第1種・第2種指定の修了生で、筑波大学子ども相談室に相談検収印として登録しているものに限定される。

テキスト 特に定めない

参考図書 Schroeder & Gordon(2002)Assessment and Treatment of Childhood Problems: A Clinician's Guide: The Guilford press.
Kazdin, A..(2005). Parent Management Training: Treatment for Oppositional, Aggressive, and Antisocial Behavior in Children and Adolescents: Oxford Univeersity Press

成績評価の方法 面接実施回数、カンファレンスでの発表会数、スーパービジョンを受けた回数、実施した面談

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和	オリエンテーション
第2回以降	濱口佳和	受講生各自の事例報告と討論

授業科目名	発達臨床心理学実習Ⅱ Practice in Developmental Clinical Psychology II	科目番号	02EU154
単位数	3	担当教員	濱口佳和
授業時間	春AB・秋AB 木曜 12:15～13:30 & 18:30～20:30	研究室	12:15～13:30 D116(春A,B), D117(秋 A,B) 18:30～20:30 D734
科目の種類	実習	メールアドレス 電話番号	7501
標準履修年次	2・3年次	オフィスアワー	木13時45分～17時30分
授業の到達目標	臨床心理士資格を有する教員のスーパービジョンの下に、幼児・児童・青年ならびに親を対象とした心理学的治療を実施し、それらの理論と技法についての理解を深める。		
授業の概要	臨床心理士資格を有する教員のスーパービジョンの下に、幼児・児童・青年ならびに親を対象とした心理学的治療ならびにその保護者に対するコンサルテーションと家訓瀬リングを行う。さらに、各自の行った心理療法の事例報告を作成し、発表し、同僚の行った心理療法のじっせいに對して建設的な立場から助言を与える。 受講生は臨床心理士有資格者または(財)臨床心理士口認定協会の指定する第1種・第2種指定の修了生で、筑波大学子ども相談室に相談検収印として登録しているものに限定される。		
テキスト	特に定めない		
参考図書	Schroeder & Gordon(2002)Assessment and Treatment of Childhood Problems: A Clinician's Guide: The Guilford press. Kazdin, A..(2005). Parent Management Training: Treatment for Oppositional, Aggressive, and Antisocial Behavior in Children and Adolescents: Oxford Univeersity Press		
成績評価の方法	面接実施回数、カンファレンスでの発表回数、スーパービジョンを受けた回数、実施した面談		

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和	オリエンテーション
第2回以降	濱口佳和	受講生各自の事例報告と討論

授業科目名	発達臨床心理学特別研究 I Research in Developmental Clinical Psychology I	科目番号	02EU155
単位数	3	担当教員	濱口佳和・大川一郎
授業時間	通年 応談	研究室	D706/東京キャンパス
科目の種類	演習	メールアドレス 電話番号	
標準履修年次	1年次	オフィスアワー	木13時45分～17時30分

授業の到達目標 発達臨床心理学分野の博士論文の書き方について個別に指導する。1年制向きの演習である。

授業の概要 受講生と相談の上日程を決め、定期的に主指導教員による個別面談を行う。修士論文における研究を振り返り、国内外の学会発表・学術雑誌への投稿、紀要への投稿、外部資金獲得などの計画について話し合い、投稿論文の作成、外部資金の申請書の作成などの指導を行う。これと並行して、博士論文全体の計画の立案を進め、可能なところからデータ収集・分析を指導する。

テキスト 特に定めない

参考図書 その都度指示する。

成績評価の方法 投稿論文並びに学会発表の数、外部資金の申請数

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口・大川	オリエンテーション
第2回以降	濱口・大川	受講生各自の報告・討論・指導

授業科目名	発達臨床心理学特別研究Ⅱ Research in Developmental Clinical Psychology Ⅱ	科目番号	02EU156
単位数	3	担当教員	濱口佳和・大川一郎
授業時間	通年 応談	研究室	D706/東京キャンパス
科目の種類	演習	電話	7501
標準履修年次	2年次	オフィスアワー	木13時45分～17時30分
授業の到達目標	発達臨床心理学分野の博士論文の書き方について個別に指導する。2年生向きの演習である。		
授業の概要	受講生と相談の上日程を決め、定期的に主指導教員による個別面談を行う。受講生が主体となって、1年次に立案した計画に従って研究を進め、データ収集方法、分析方法、結果の解釈などについて討論する。その成果を国内外の学会発表、学術雑誌への投稿、紀要として投稿するよう指導する。同時に、外部資金への申請を奨励し、申請書の作成を支援する。		
テキスト	特に定めない		
参考図書	その都度指示する		
成績評価の方法	投稿論文並びに学会発表の数、外部資金の申請数		

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和 大川一郎	オリエンテーション
第2回以降	濱口佳和 大川一郎	受講生各自の報告・討論・指導

授業科目名	発達臨床心理学特別研究Ⅲ Research in Developmental Clinical Psychology Ⅲ	科目番号	02EU157
単位数	3	担当教員	濱口佳和・大川一郎
授業時間	通年 応談	研究室	D706/東京キャンパス
科目の種類	演習	電話	7501
標準履修年次	3年	オフィスアワー	木13時45分～17時30分

授業の到達目標 発達臨床心理学分野の博士論文の書き方について個別に指導する。3年生向きの演習である。

授業の概要 受講生と相談の上日程を決め、定期的に主指導教員による個別面談を行う。受講生が主体となって、1年次に立案した計画に従って研究を進め、データ収集方法、分析方法、結果の解釈などについて討論する。これまでの研究をまとめ、博士論文としてまとめるよう指導する。博士論文の構成、各部分のプロットの作成、具体的な原稿の作成の全プロセスを支援し、予備審査、本審査のプレゼンテーションについても指導する

テキスト 特に定めない

参考図書 その都度指示する

成績評価の方法 投稿論文並びに学会発表の数、外部資金の申請数

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和 大川一郎	オリエンテーション
第2回以降	濱口佳和 大川一郎	受講生各自の報告・討論・指導

授業科目名	発達臨床心理学実験実習	科目番号	02EU158
単位数	3	担当教員	濱口佳和、沢宮容子、青木佐奈枝、杉江征、望月聡
授業時間	春A・B・C、秋A・B・C 月 12:15～17:00 水 15:15～18:00	研究室	D706
科目の種類	実習	電話	7501
標準履修年次	1-3年	オフィスアワー	木13時45分～17時30分

授業の到達目標 大学の専門課程で心理学を学ぶ学生に対して、心理統計と心理学研究の実践的指導が独力で可能になること

授業の概要 心理学類開講の心理統計実習 I II および心理学研究法 I II の授業において、心理学類担当教員の指導の下でインストラクターの役割を担う。発達臨床心理学分野の院生のみ受講を限定する

テキスト 授業において指示する

参考図書 授業において指示する

成績評価の方法 各回の出席とレポート

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	濱口佳和	オリエンテーション
第2回以降		心理学類開講の「統計実習 I・II」と「研究法 I・II」の授業計画に準ずる